

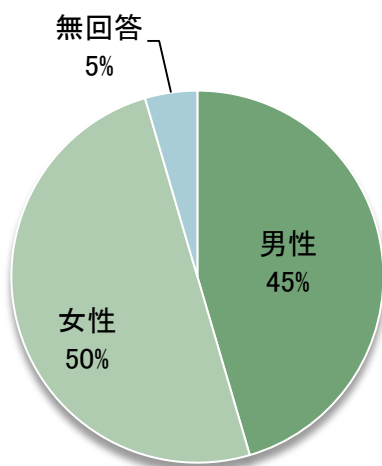
# JAXA タウンミーティング in 広島空港 開催報告

平成 27 年 8 月 23 日、JAXA タウンミーティング in 広島空港 “宇宙が好きじゃけん、広島で宇宙を語ろうや！” を開催しました。今回は、JAXA が取り組んでいる宇宙探査について話題をお伝えし、会場の参加者と活発な意見交換がなされました。

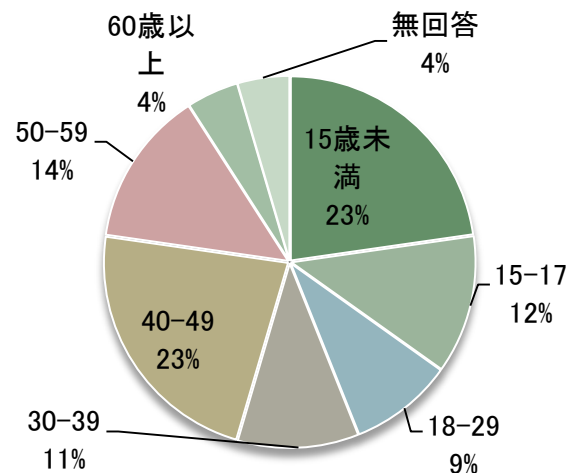
- 開催日時 平成 27 年 8 月 23 日（日） 13:00～14:20
- 会場 広島空港 1F アトリウム広場
- 参加者数 120 人
- 登壇者 JAXA 宇宙探査イノベーションハブ 計画マネージャ 川崎 一義  
話題「宇宙探査新時代の幕開けと JAXA の挑戦」
- 進行コーディネーター  
JAXA 広報部長 上垣内 茂樹

## アンケート回答者の属性（有効回答数：66）

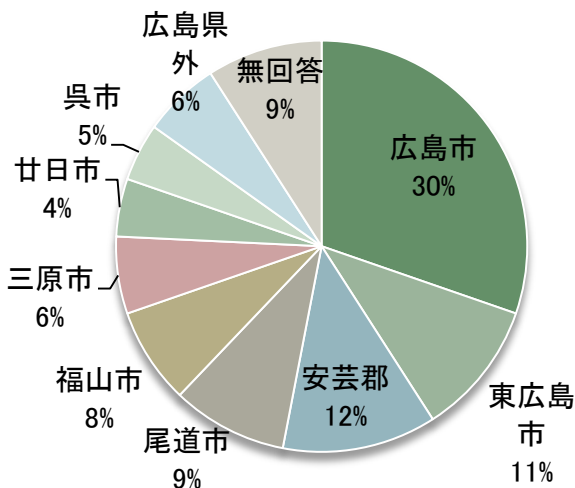
### 1. 性別



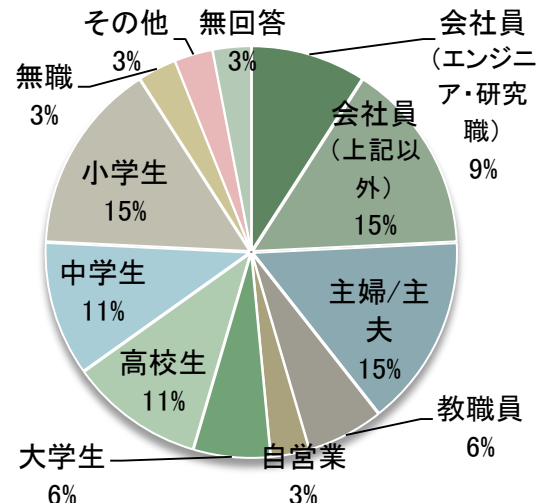
### 2. 年齢



### 3. 居住地



### 4. 職業



## 主なご意見（意見投稿、アンケート記入分も含む）

### ■今回のタウンミーティングの話題に関連して

#### 「宇宙探査新時代の幕開けと JAXA の挑戦」

- ・ 月や火星もいいが、大気があるといわれている土星の衛星、タイタンやエンケラドゥスへの探査をもっとしてもいいのではないか。
- ・ 「国際宇宙開発基金」のようなものを作り、ワールドワイドに資金を募って運用してはどうか。
- ・ 子どもや一般の方が今日のように宇宙開発について学べる機会を多くつくるのが日本の宇宙開発を大きく育てると思う。教育現場を通して子どもたちへ広く宇宙分野の周知を図るべき。

#### 日本は宇宙探査にどのように取り組むべきか？

- ・ 世界で調和的に進めていくことが最も重要であるように思った。
- ・ 今よりさらに民間の日本の技術をいかせるようなネットワークを作っていく、開発を進めるべきだと、今日の話聞いて思いました。
- ・ 一般の人々にも理解できるように、様々な機会を設けて説明などをし、賛同を得ながら取り組むと良いと思います。
- ・ 予算の確保はどんどん厳しくなると思うので、日本だけでなく、海外も含めて民間企業も巻き込んで探査・開発を進めるのも方法のひとつだと思います。
- ・ 若い人がたくさん学べる場を作って教育し、技術を開発し、その日本の素晴らしい技術を有効に宇宙探査に役立ててほしいです。
- ・ 積極的に取り組むべきだと思います。特に、日本は無人着陸機のサンプルリターンやロボット技術が進んでいると思うので、これらの得意分野を生かしていけたらよいと思います。
- ・ 日本がNASAと同じような活動をするのは難しいと思いますし、そこを目指すべきではないと思います。やはり、それぞれが得意とするものを受けもって、世界レベルで活動していくのが良いと考えます。日本の観測技術等は、これからもチャレンジして行ってほしいです。もし、宇宙滞在実現を目指すなら、宇宙線の対策に力を入れてもらいたいです。ISSで新素材開発とか出来ないものでしょうか。
- ・ 災害による被害を抑えられるシステムの開発により力を入れるべきだと思います。
- ・ 月を開拓することを第一と考え、月に成功した後、火星にチャレンジするべきだと思う
- ・ JAMSTEC との共同の研究を積極的にしていただきたい。
- ・ 日本の得意な分野はロボット（精密、小型、自律）になるでしょうから、探査機を用いて科学に貢献してもらいたい。また、できれば有人宇宙技術は継続して獲得してもらいたい。最後の方の質問にありましたので手を挙げませんでした。教育という分野に宇宙を生かすべきです。（たとえば「宇宙飛行士と交信しよう」イベントなど開催して、毎回毎回同じ質問が出るというのは宇宙教育が出来ていないことを意味します。）

## ■タウンミーティング、その他について

- ・ JAXA の取り組みについての報道が少ない。
- ・ 非常に良いイベントだったが事前の広報が不足し過ぎていた。この点、再考願いたい。
- ・ このような機会を今の倍以上に増やして、広く一般の方を宇宙開発に巻き込むきっかけにしてほしい。
- ・ 今回のタウンミーティングは有意義な時間を過ごせましたが、場所的により静かなところならなおよかったです。いろんな話が聴けて楽しかったです。
- ・ タウンミーティングの意義は理解していますが、子ども向けや、ある程度の知識を持った人向け等、クラス分けをして行ってほしい。
- ・ もっとたくさん開催してほしい。

